

**2026年12月期（会計期間 1 - 6月）決算説明 および
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応についての進捗状況**

**株式会社ニチリン
(証券コード：5184)**

上期は大幅増収・営業増益、通期予想は据え置き

注：金額は連結ベース。増減率は前年同期比。

中間業績

売上高

422 億円

前年同期比 +18.3%

営業利益

52 億円

前年同期比 +5.9%

経常利益 55.1億円（+27.4%）
中間純利益 28.9億円（△4.1%）

日本・中国・アジア・欧州が増益。
北米は追加関税等により営業損失2.5億円。

通期業績予想

2026年12月期予想

売上高 780億円

営業利益 93億円

経常利益 95億円

当期純利益 56億円

通期予想は据え置き

下期為替前提：1米ドル 160円
（期初前提 150円から見直し）

上振れ余地はあるものの、北米事業・追加関税・
原材料価格・令和8年熊本地震等の不確実性を考慮。

株主還元・資本政策

年間配当予想

190円／株

中間95円 + 期末95円
配当性向目標 45%・DOE下限 2.5%

自己株式取得

上限15億円

取得株式は消却方針。
資本効率と1株当たり価値の向上を図る。

2026-2028年 キャッシュ・アロケーション

総額 350億円

戦略投資205億円 | 株主還元130億円 | その他15億円
中間期実績 55億円（進捗15.9%）

目次

1. 2026年12月期（会計期間 1-6月）決算概況
2. 2026年12月期（会計期間 1-6月）業績予測に対する進捗
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応についての進捗状況
4. トピックス

1-1. 会計期間 1 - 6月 決算概況 (連結損益 前年同期比)



(損益計算書)

単位：百万円

項目	2025年 1-6月	2026年 1-6月	増減額	前年同期比
売上高	35,732	42,261	+ 6,528	118.3%
営業利益	4,917	5,205	+ 288	105.9%
経常利益	4,327	5,512	+ 1,185	127.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,017	2,894	△123	95.9%
(営業利益率)	13.76%	12.32%	－	△1.44%
(経常利益率)	12.11%	13.04%	－	+ 0.93%
(当期純利益率)	8.44%	6.85%	－	△1.60%

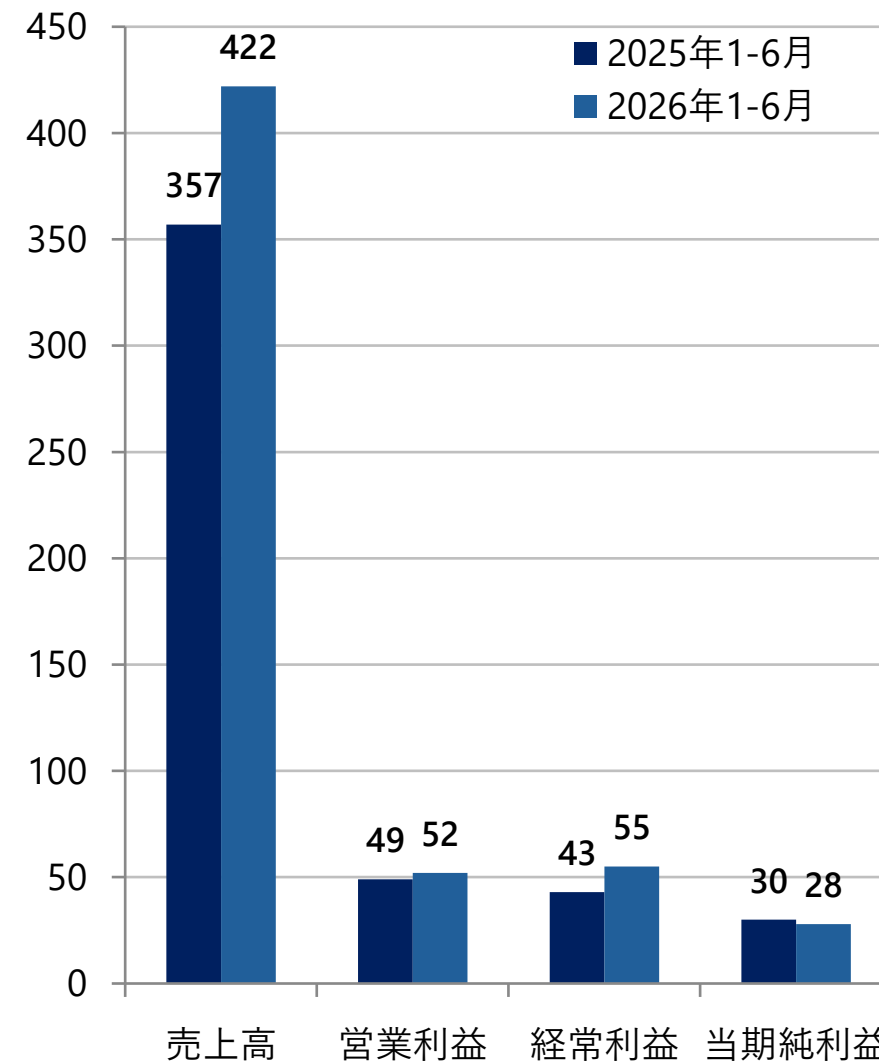
(為替レート)

単位：円/外貨

項目		2025年 1-6月	2026年 1-6月	増減	前年同期比
期中平均 レート	USD（米ドル）	148.41	158.29	9.88	106.7%
	EUR（ユーロ）	162.25	184.55	22.30	113.7%
	CNY（中国元）	20.44	23.07	2.63	112.9%
期末レート*	USD（米ドル）	156.54	162.45	+ 5.91	103.8%
*前年レートは 年末レート	EUR（ユーロ）	184.26	185.44	+ 1.18	100.6%
	CNY（中国元）	22.37	23.88	+ 1.51	106.8%

*前年レートは
年末レート

(億円)



1-2. 会計期間 1 - 6月 決算概況 (セグメント売上高 前年同期比)

(セグメント売上高)

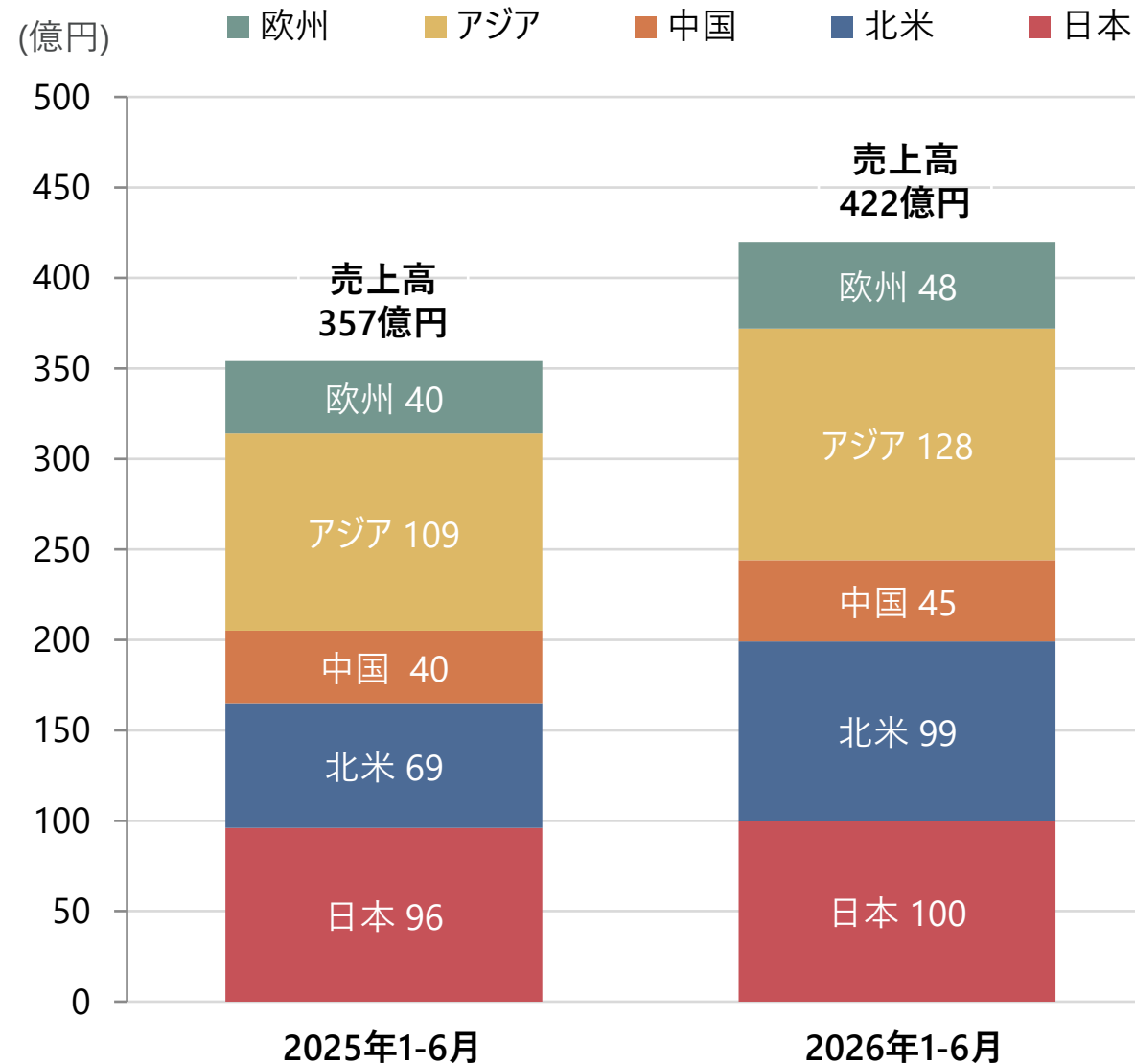
単位：百万円

項目	2025年 1-6月	2026年 1-6月	増減額	前年同期比
日本	17,133	18,860	1,726	110.1%
北米	6,940	9,918	+ 2,977	142.9%
中国	4,949	5,670	+ 721	114.6%
アジア	12,142	14,335	+ 2,193	118.1%
欧州	4,127	4,969	+ 842	120.4%
調整額	△9,560	△ 11,492	△1,932	—
連結売上高	35,732	42,261	+ 6,528	118.3%

(外部顧客への売上高)

単位：百万円

項目	2025年 1-6月	2026年 1-6月	増減額	前年同期比
日本	9,695	10,087	+ 392	104.1%
北米	6,939	9,917	+ 2,978	142.9%
中国	4,065	4,573	+ 508	112.5%
アジア	10,985	12,822	+ 1,836	116.7%
欧州	4,046	4,859	+ 812	120.1%
連結売上高	35,732	42,261	+ 6,528	118.3%

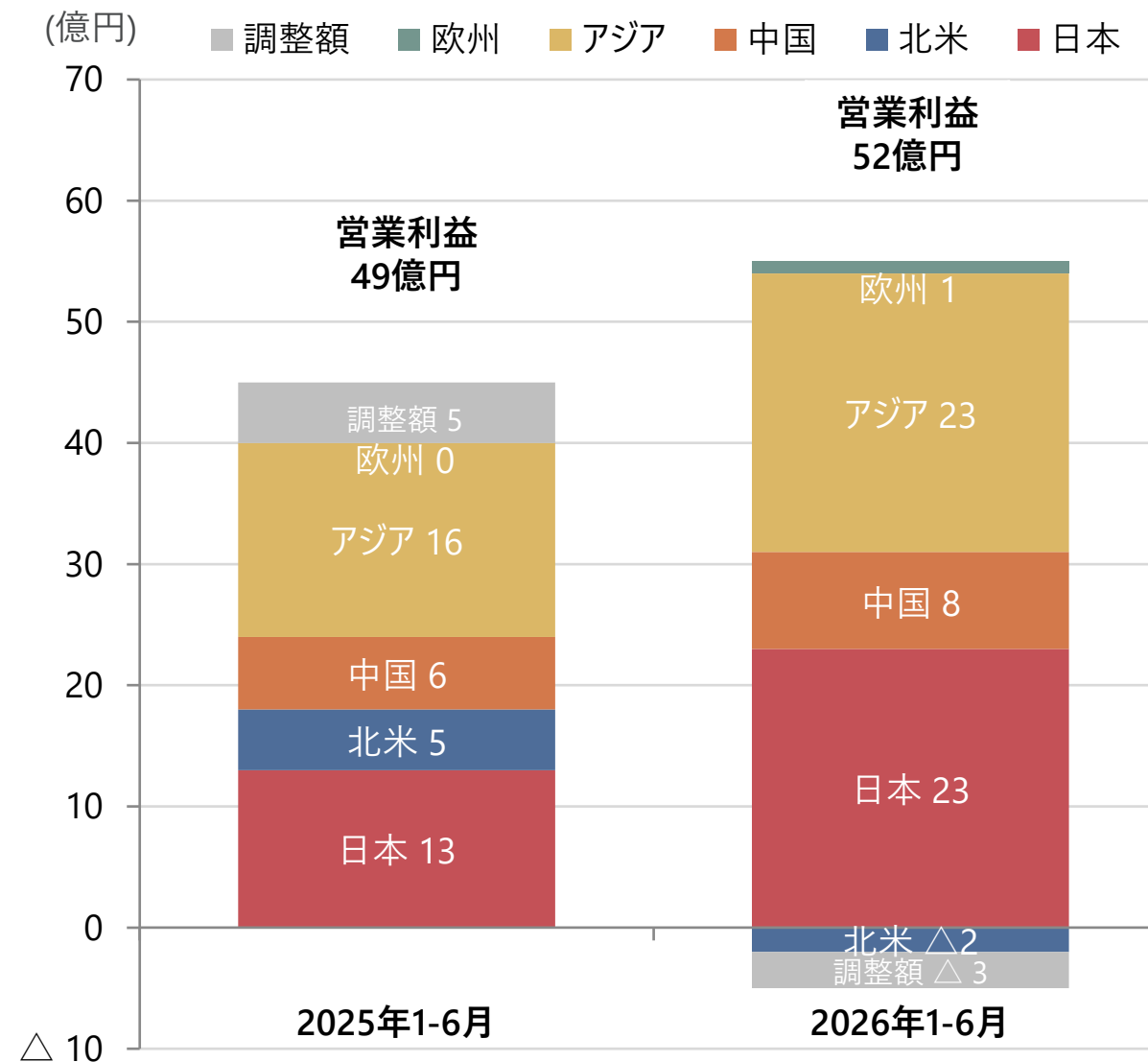


1-3. 会計期間 1 - 6月 決算概況 (セグメント利益 前年同期比)

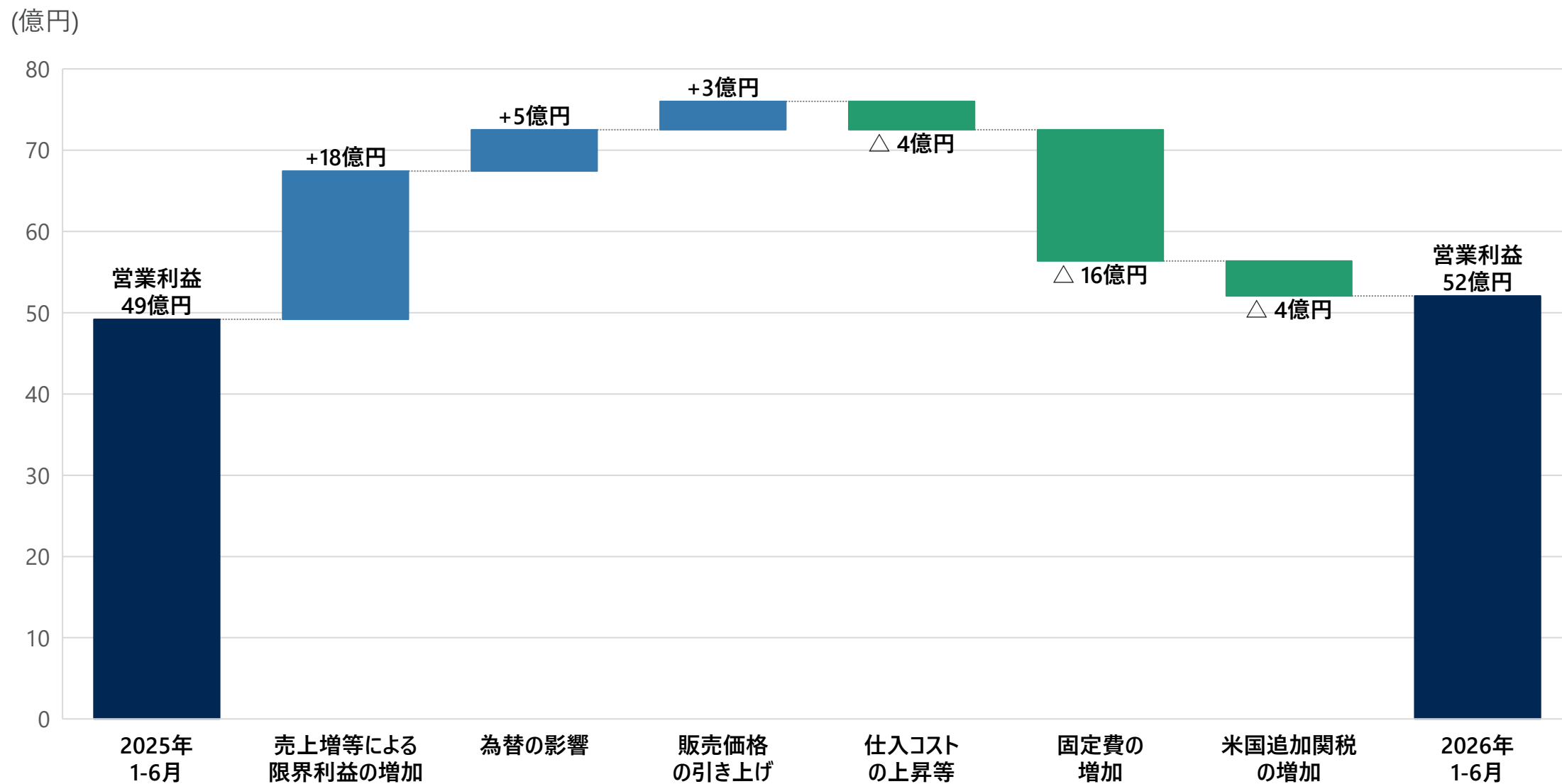
(セグメント営業利益)

単位：百万円

項目	2025年 1-6月	2026年 1-6月	増減額	前年同期比
日本	1,375	2,394	+ 1,019	174.1%
北米	547	△256	△803	△46.8%
中国	669	867	+ 197	129.6%
アジア	1,645	2,353	+ 708	143.1%
欧州	99	150	+ 50	150.7%
調整額	580	△303	△884	—
連結利益	4,917	5,205	+ 288	105.9%



1-4. 会計期間 1 - 6月 決算概況 (連結営業利益の増減要因 前年同期比)



2. 2026年12月期（会計期間 1 - 6月）業績予測に対する進捗

2-1. 2026年12月期 通期の業績予測に対する進捗

(年間計画に対する実績)

単位：百万円

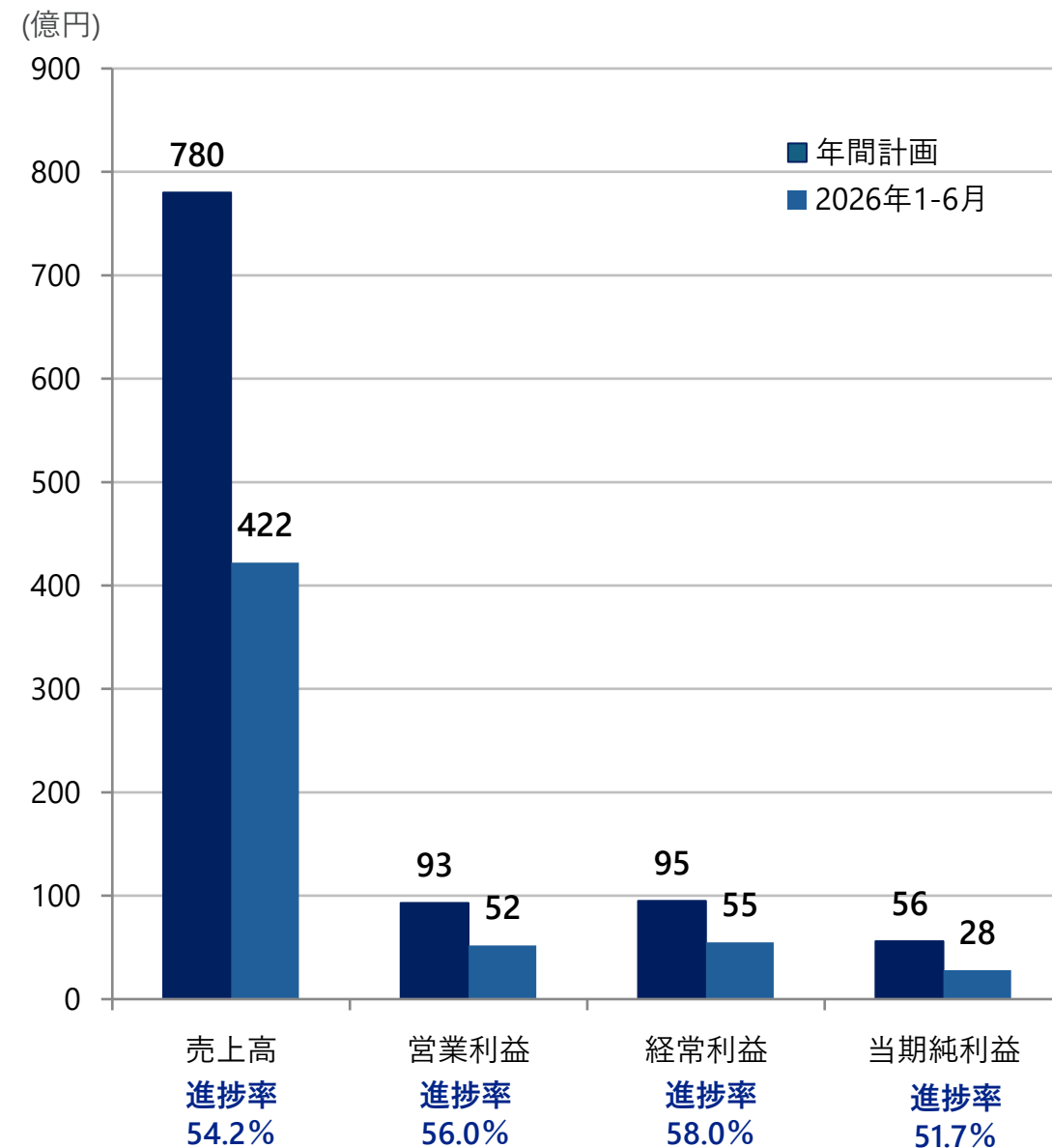
項目	2026年 年間計画	2026年 1-6月実績	年間進捗率
売上高	78,000	42,261	54.2%
営業利益	9,300	5,205	56.0%
経常利益	9,500	5,512	58.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,600	2,894	51.7%
(営業利益率)	11.92%	12.32%	—
(経常利益率)	12.18%	13.04%	—
(当期純利益率)	7.18%	6.85%	—

(為替レート)

単位：円/外貨

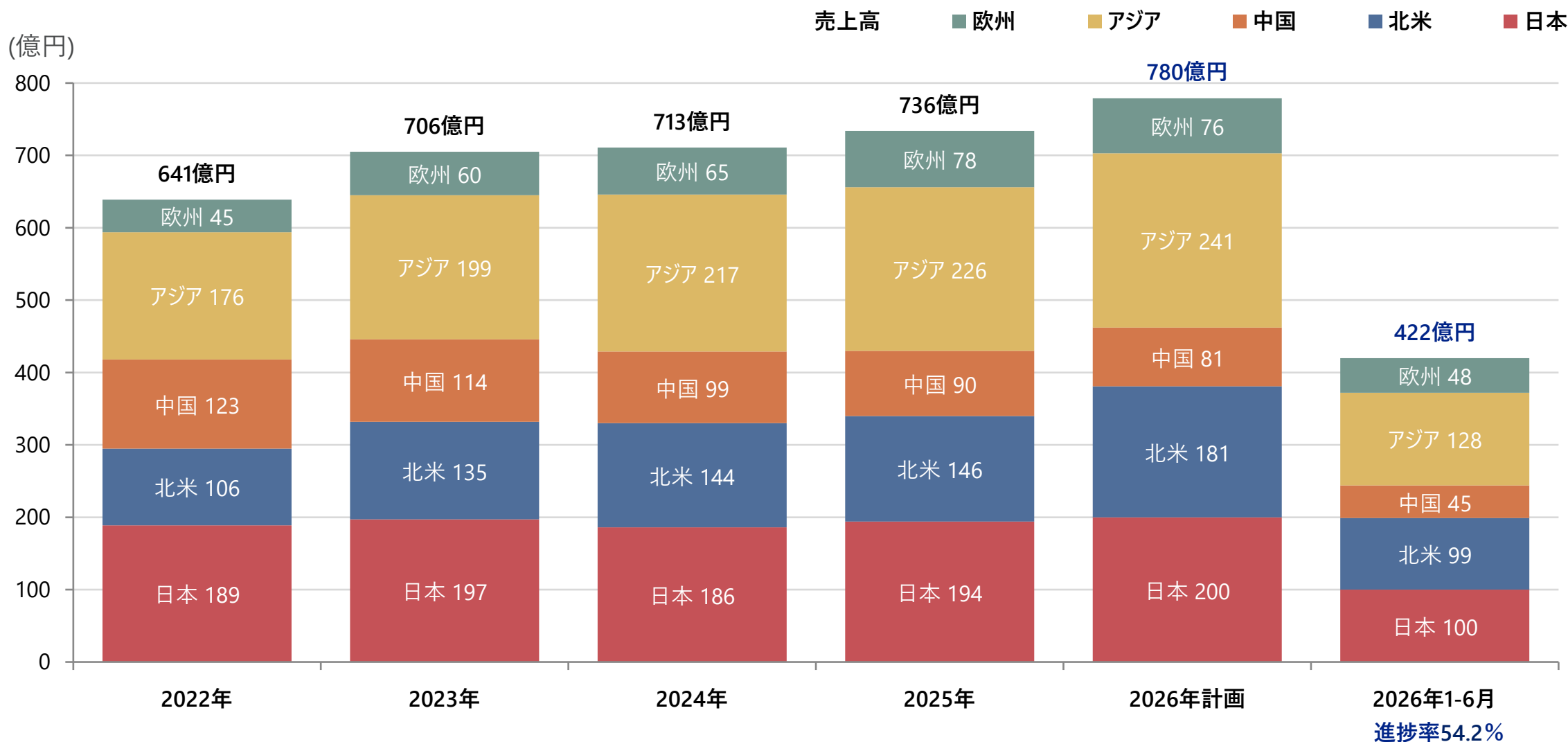
項目		計画レート	実績レート	計画比
期中平均 レート	USD（米ドル）*	150.00	158.29	105.5%
	EUR（ユーロ）	170.00	184.55	108.6%
	CNY（中国元）	20.00	23.07	115.4%

* 2026年下期の為替レートは160円/USDの予想に見直しましたが、通期連結業績予想は据え置いております。



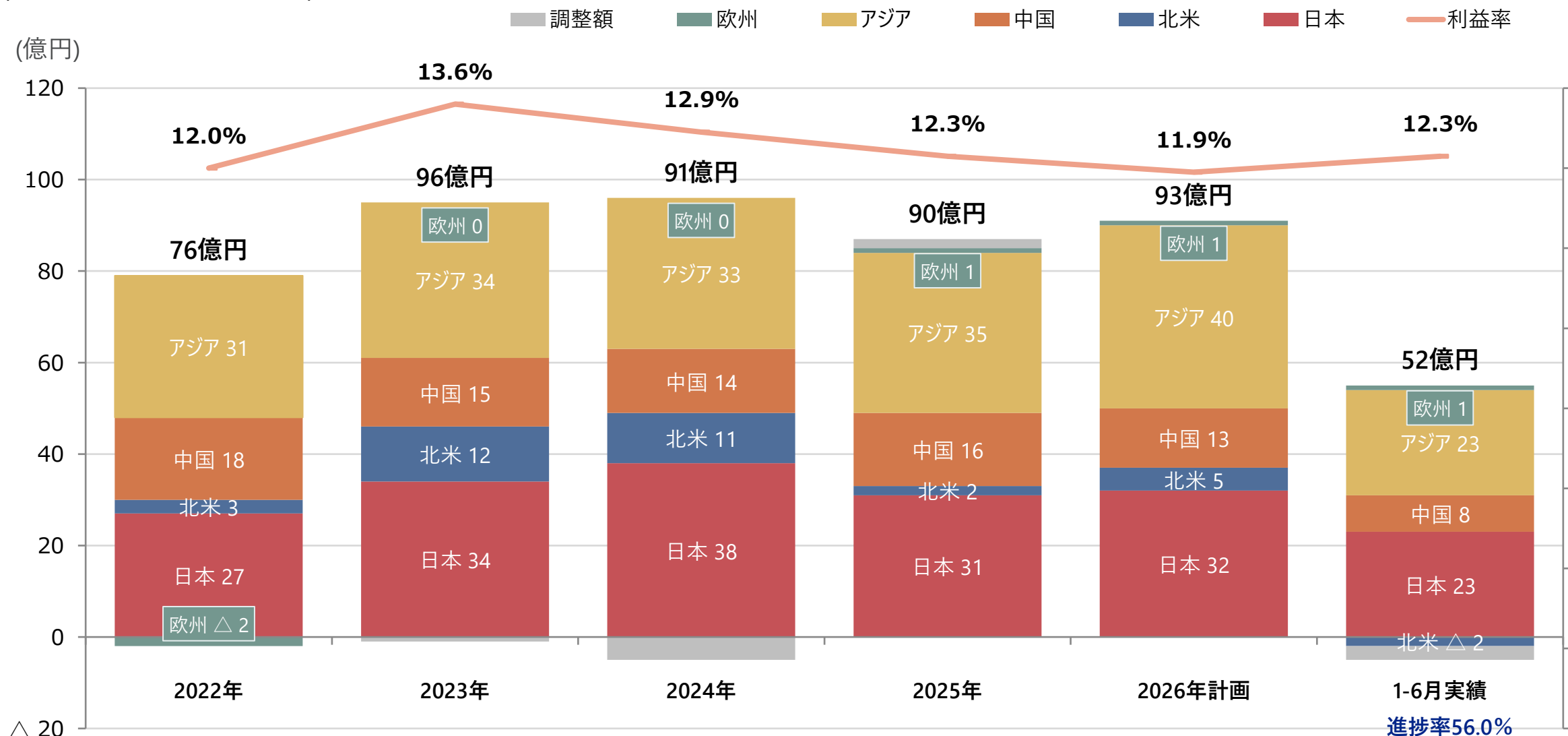
2-2. 2026年12月期 業績予想に対する進捗（売上高）

(セグメント別 売上高の推移)



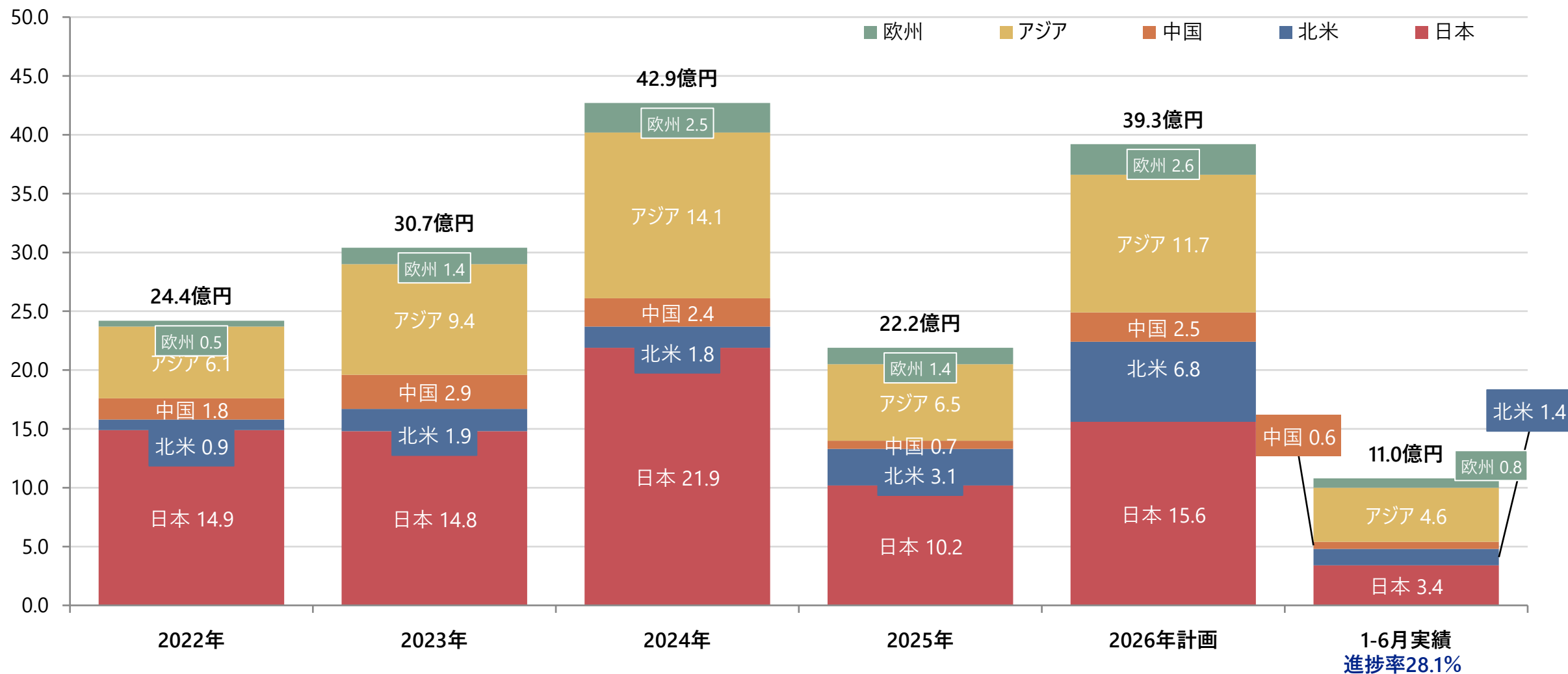
2-3. 2026年12月期 業績予想に対する進捗（営業利益）

(セグメント別 営業利益の推移)



(セグメント別 設備投資の推移)

(億円)



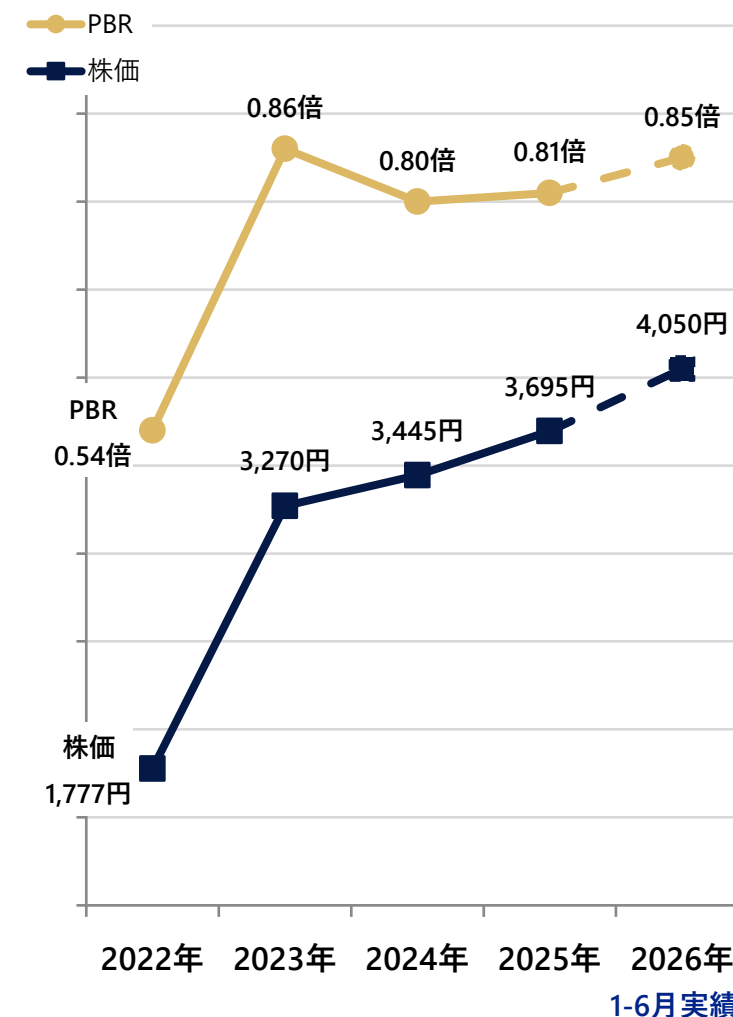
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応についての進捗状況

3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（経営成績）

（連結経営成績の評価）

項目	単位	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年計画	2026年1-6月	年間進捗率
売上高	百万円	64,172	70,631	71,356	73,668	78,000	42,261	54.2%
営業利益	百万円	7,678	9,620	9,184	9,060	9,300	5,205	56.0%
経常利益	百万円	8,452	10,548	10,382	9,230	9,500	5,512	58.0%
当期純利益	百万円	4,578	5,915	6,171	5,514	5,600	2,894	51.7%
営業利益率	%	12.0%	13.6%	12.9%	12.3%	11.9%	12.3%	—
ROE*	%	10.5%	12.1%	11.4%	9.4%	10.0%	—	—
PBR*	倍	0.54倍	0.86倍	0.80倍	0.81倍	1.00倍	0.85倍	—
配当性向*	%	27.7%	34.6%	38.1%	42.1%	45.0%	—	—
DOE*	%	2.91%	4.21%	4.33%	3.96%	下限 2.5%	—	—
PER*	倍	5.48倍	7.54倍	7.46倍	8.83倍	10.00倍	—	—
1株当たり配当金	円	90円	150円	176円	176円	190円	95円	50.0%
1株当たり当期純利益*	円	324円	433円	461円	418円	—	219円	—
1株当たり純資産*	円	3,304円	3,823円	4,311円	4,575円	—	4,779円	—
期末株価	円	1,777円	3,270円	3,445円	3,695円	—	4,050円	—

（PBRと株価）

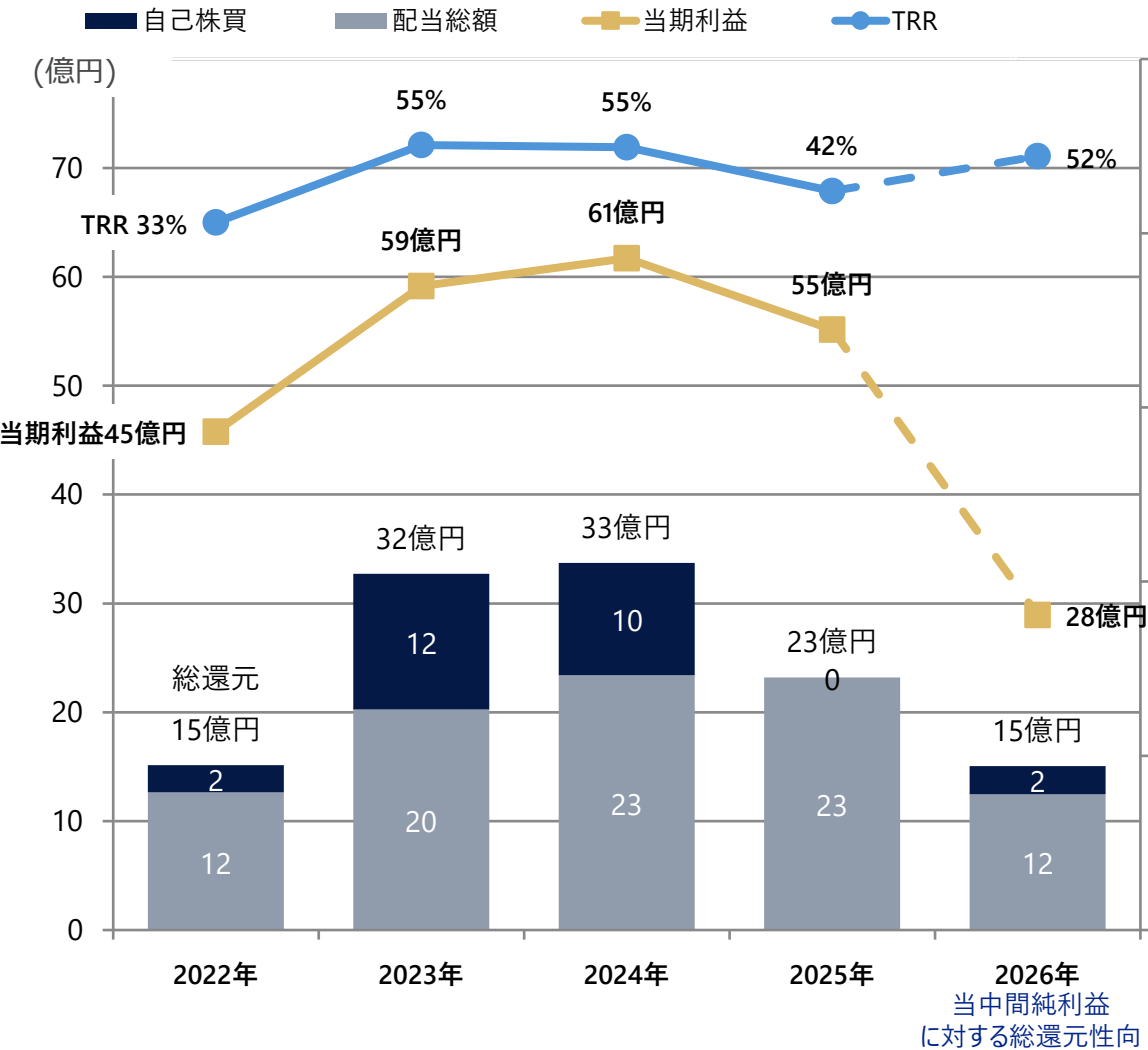


* ROE: 自己資本当期純利益率（1株当たり当期純利益÷1株当たり純資産(期首・期末平均)）、PBR: 株価純資産倍率（期末株価÷1株当り純資産）
 配当性向: 1株当たり配当金÷1株当たり当期純利益、DOE: 1株当たり配当金÷1株当たり純資産(期首・期末平均)、PER: 株価収益率(期末株価÷1株当たり当期純利益)
 1株当たり当期純利益: 親会社に帰属する当期純利益÷期中平均株式数、1株当たり純資産: (純資産-新株予約権-非支配株主持分)÷期中平均株式数

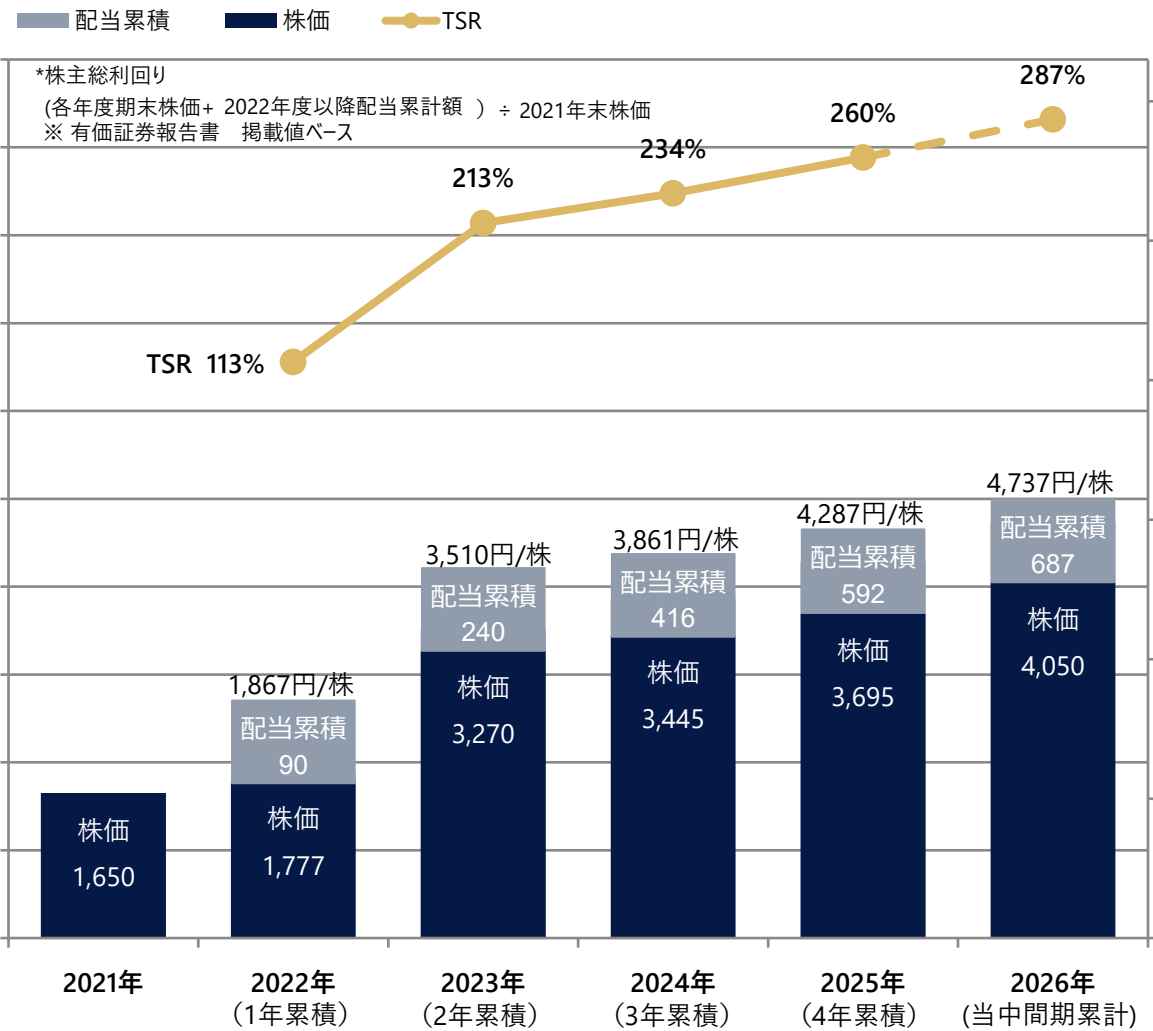
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（株主還元／TSR）



(総還元性向)



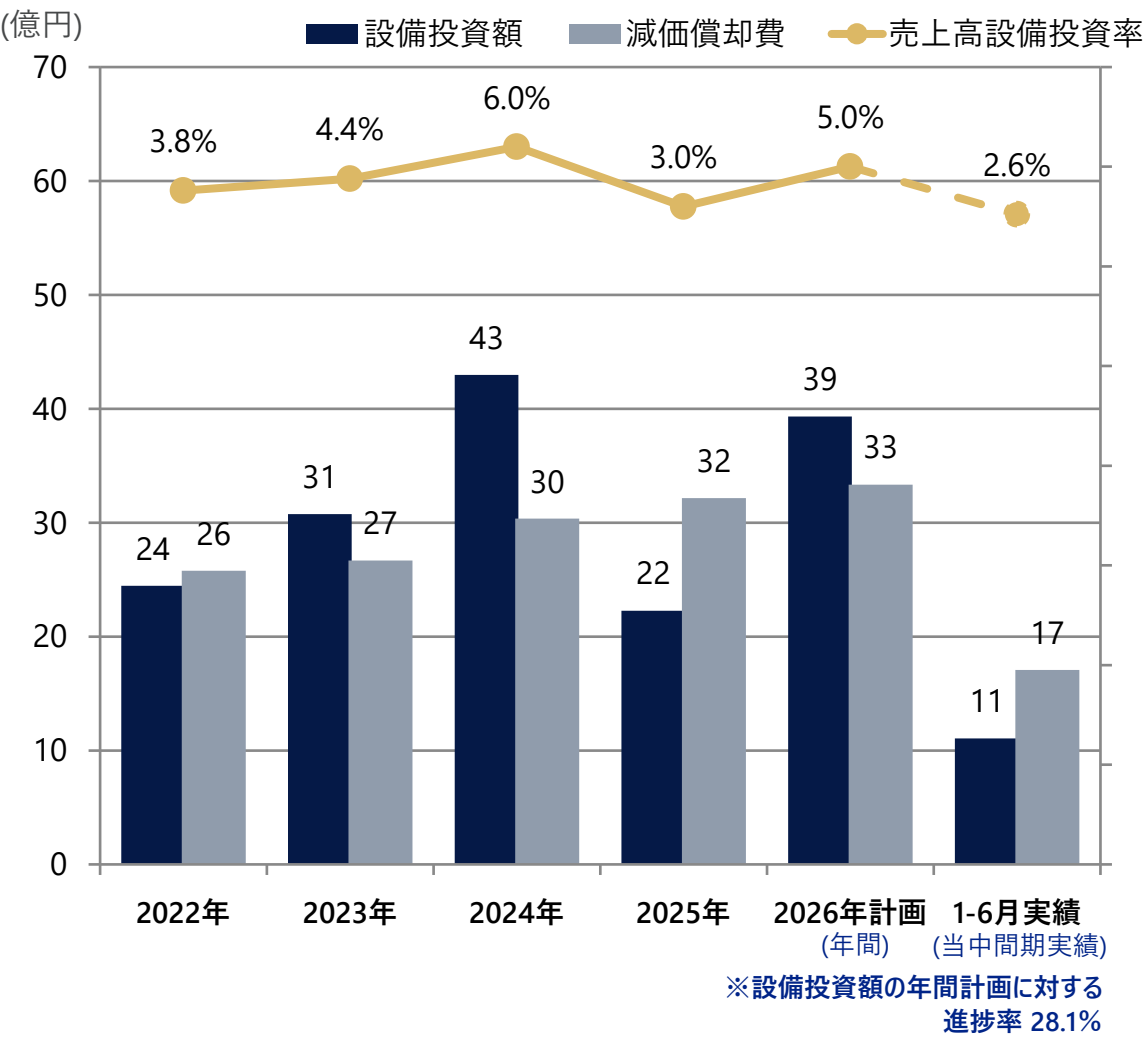
(株主総利回り)



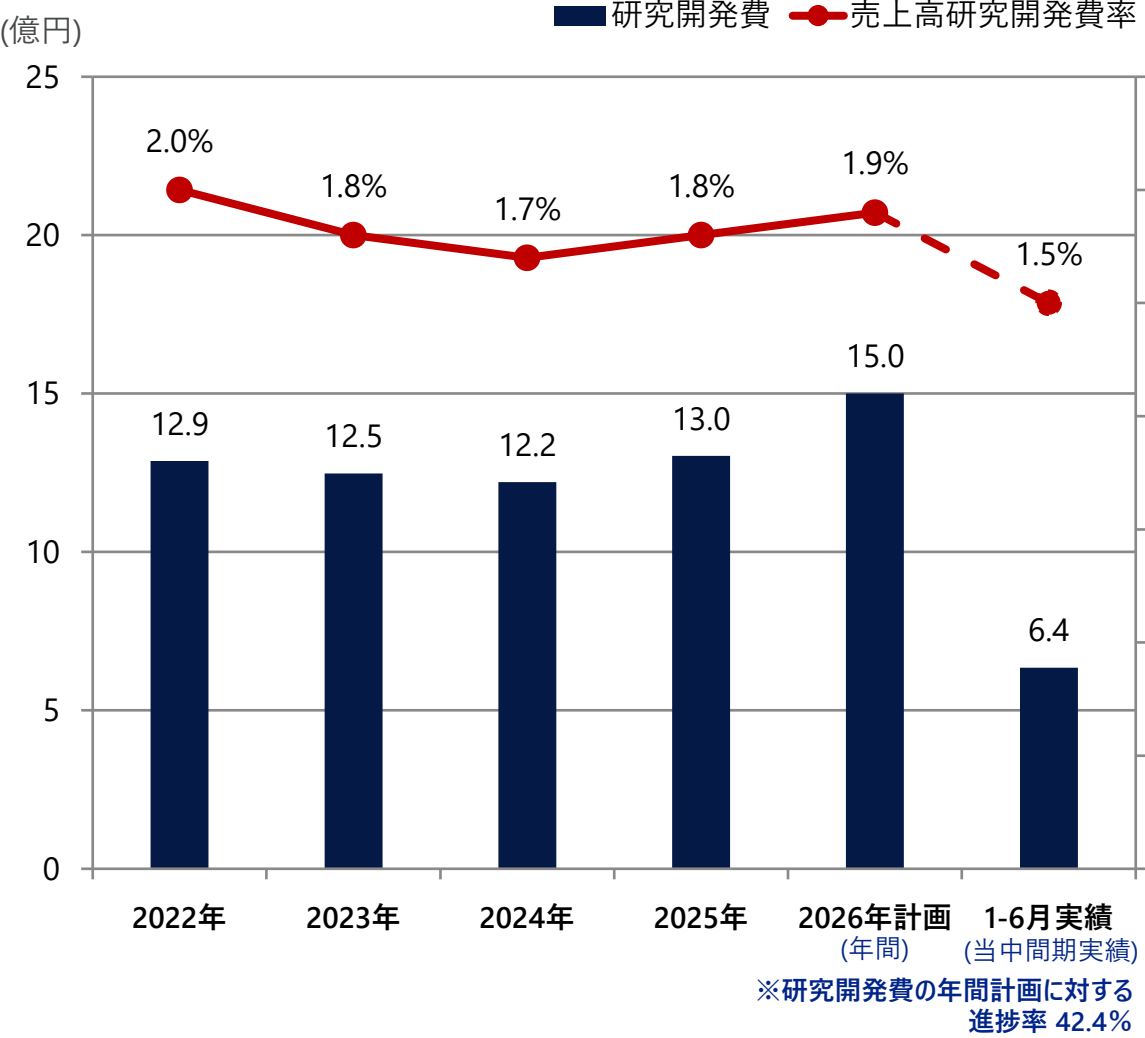
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（R & D 投資と設備投資）



(設備投資・減価償却費と売上高設備投資率)



(R&D投資と売上高研究開発費率)



3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（重点施策）

（重点施策の具体的な取り組み）

取り組み事項	指標	2028年目標 (中期経営計画)	2026年1-6月実績
1.新製品の拡販 新規顧客/EV/樹脂/異種材料接合 (2025年比150%)	売上高	45億円／年	20.2億円／中間期
2.未開拓市場への事業拡大 外資メーカーへの販売 (2025年比140%)	売上高	205億円／年	96.5億円／中間期
3.SDGsに配慮した活動 スコープ1, 2におけるGHG排出量の削減 (2022年比 31.5%削減)	削減量	20,230 t／年	— (年間実績を開示)
4.人的資本経営の推移と多様な人材活用 - 女性従業員採用率 - 外国人採用率 - 指定資格取得者 - ホワイト500	採用率 採用率 人数 —	30% 以上 30% 以上 166人以上 認定	33% 33% 132人 取組中

3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（キャッシュ・アロケーション）

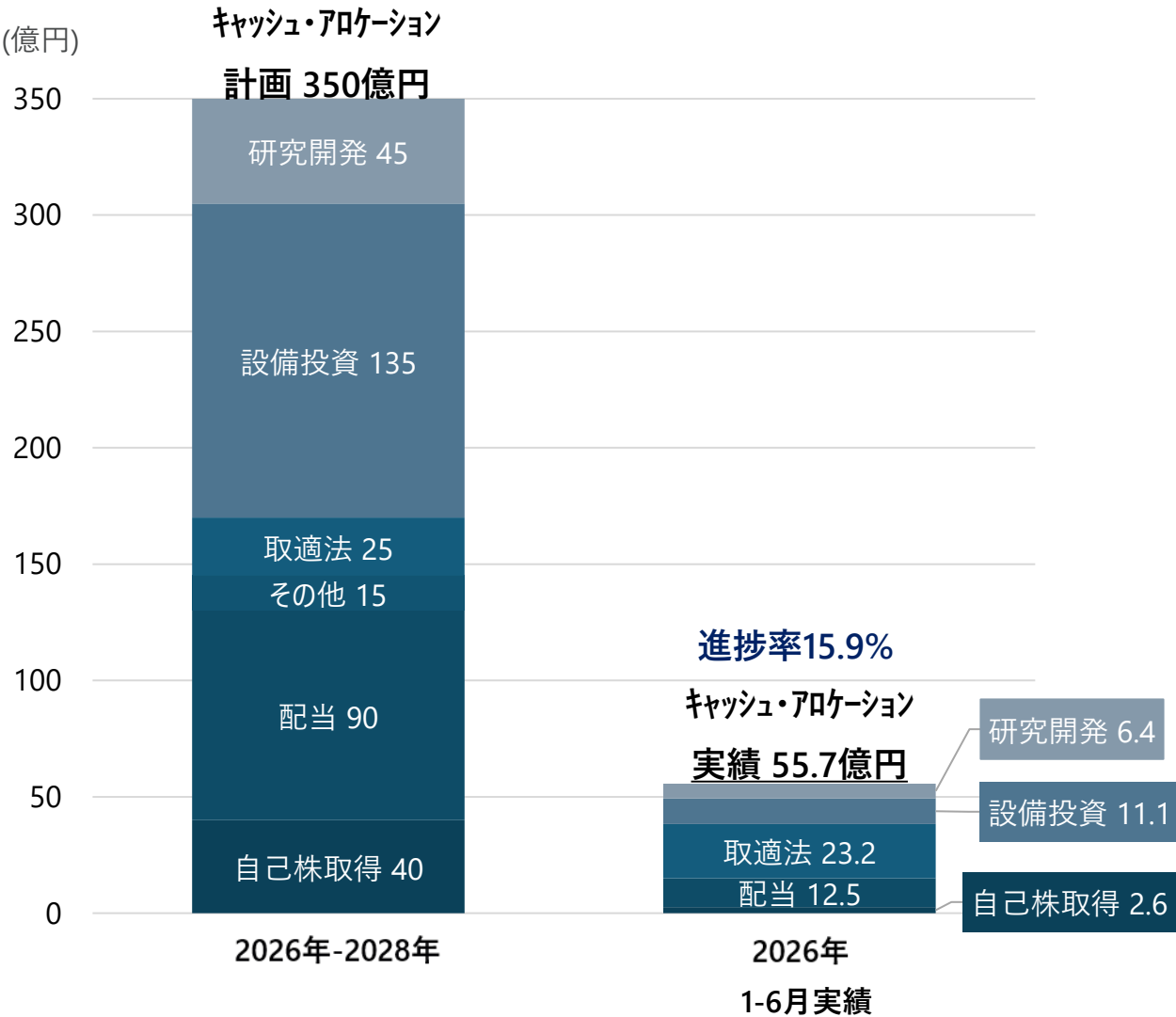
キャッシュ・アロケーション	2026年-2028年（中期経営計画）
3年間の総額	350億円

戦略投資など
205億円

その他投資
15億円

株主還元
130億円

- R&D投資 45億円
- 設備投資 135億円
- 取適法の対応（支払い期間の短縮） 25億円
- その他投資 15億円
[人的資本投資、M&A、他]
※投資状況によっては、株主への追加還元も検討
- 配当 [配当性向 45%] 90億円
- 自己株式の取得 40億円



3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（株主との対話）

1.株主・投資家との対話状況

株主投資家の対話	2025年 (年間)	2026年1-6月 (中間期)	当社対応者	開催について
株主への決算説明会開催	1 回	1 回	代表取締役社長、取締役専務執行役員、取締役常務執行役員、取締役執行役員	株主総会終了後 ホテル日航（株主総会会場）
機関投資家・アナリスト向け決算説明会開催	1 回	1 回	代表取締役社長、 取締役専務執行役員	本決算 北浜フォーラム
決算説明資料のホームページ掲載 (質疑応答は、IRに関するお問合せページで実施)	2 回	2 回	IRチーム	本決算・中間決算 当社ホームページ
機関投資家など とのIR面談	27 回	13 回	取締役専務執行役員、 IRチーム	ニチリン姫路工場またはWEB面談等

2.主な対話内容

主なテーマ	対話内容
事業概要	製品群の説明、グループ拠点の事業、マーケットシェア、競合、当社の強みと弱み、大株主との関係等
決算状況	為替の影響、セグメント毎の売上、営業利益の増減分析説明、業績予想
トピックス	地域別トピック（米国：M&A、JCX、追加関税等、中国：日系・現地メーカー向け販売動向、アジア・欧州：市場成長性、2 輪、EV化）、 経済情勢・外部環境の変化の影響（トランプ、自動車メーカーのEV製造開始 等） 中期経営計画、資本コストと市場評価・企業価値（株価推移、PER・PBR・EV/EBITDA・ROIC・WACC、株主還元）

3.株主の意見・懸念の経営陣や取締役会に対するフィードバックの実施状況

株主の意見・懸念の経営陣や取締役会に対するフィードバックの実施状況
取締役会へ3か月に1回株主等の対話の内容を報告

ニチリングループは、事業を通じた価値提供に加え、環境・社会課題の解決と人材の活躍推進、地域社会との共生を通じて、中長期的な企業価値向上と持続的な成長の実現を目指しています。

環境・サステナビリティの取り組み

ホンダ サステナビリティ賞 受賞

サプライヤーとしての環境・人権・ガバナンスなど幅広いサステナビリティ活動が評価され、「サステナビリティ賞（優秀賞）」を受賞しました。

- 評価のポイント
- ・カーボンニュートラルに向けた取り組みの推進
 - ・人権尊重・サプライチェーンマネジメントの強化
 - ・ガバナンス体制の高度化とコンプライアンスの徹底



R&Dセンター屋上へ太陽光パネル設置

再生可能エネルギーの活用を拡大し、CO₂排出量の削減に貢献しています。



ラッピングコンテナの導入

繰り返し使用可能なラッピングコンテナの本格展開により、包装資材の削減と物流効率の向上を実現しています。



人的資本・地域社会への取り組み

くるみん認定・ミモザ認定の取得

次世代育成支援および女性活躍推進に関する取り組みが評価され、「くるみん認定」と「ミモザ認定」を取得しました。

主な取り組み

- ・多様な人材が能力を発揮できる職場づくり
- ・育児・介護と仕事の両立支援の充実
- ・女性のキャリア形成支援と登用の推進
- ・風通しの良い組織風土の醸成



姫路駅前への企業看板設置

姫路駅前の大型サイネージに企業看板を設置し、地域における企業認知の向上と採用ブランドの強化を図ります。

期待する効果

- ・地域社会との接点強化・信頼関係の構築
- ・企業認知向上による人材採用力の強化
- ・地域経済・雇用への貢献





In Step with the Future
NICHIRIN

～おことわり～

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社独自の判断に基づくものであり、
経済状況や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。
従いまして、記載された将来の予想数値・施策の実現を確約したり、保証するものではありません